

# 「市長と語る会」終わる

市民の皆さんのご要望やご意見を素直に市政に反映させ、皆さんの力で住みよい大館市をつくるために、新市内地区と新たに御成町地区を加えて、「市長と語る会」を開きました。

7月21日、御成町地区を皮切りに開いたこの会には、各地区あわせて298人(うち女性48人)の市民の方々が出席し水害後の道路整備や小中学校の統合、プールの設置など、334件にわたるご要望やご意見をいただきました。

なかでも、市道の舗装、側溝の整備、街灯の取付けなど建設課の所管に属する要望が、一番多く、要望事項全体の47%を占めています。

この会での席上、要望事項に対する可能性の有無についてはほとんど市長から即答しております。しかし、今後検討を必要とする要望事項については、担当課でさらに検討をくわえ、出来るだけ要望にこたえることにしています。

## まちの話題

### 公園の清掃に励む1丁目(4区)町内会



御成町1丁目にある清水児童公園は、父兄たちの清掃奉仕活動によって、みちがえるほどきれいになっている。

この奉仕活動は、雑草や散在するごみの中で遊ぶ子どもたちを見かねた1丁目4区(会長・近藤慶治氏)の父兄たちがもったきれいな公園の中で広びろと遊んでもらおうと、2年前からはじめています。

公園のそうじには、4区町内会(約160世帯)の人々が、日曜あるいは朝の出動前に交代で参加してそうじに励んでいるそうです。

こうした子どもたちを思う町内会の心づかいは、子どもたちに喜ばれていることにももちろん、町内あげての奉仕活動という点で、いま市内の話題になっています。

## 保健婦の窓

### あなたは疲れすぎていませんか?

朝起きづらい、足腰がだるい、頭がぼんやりする、疲れが抜けきらない、目がチラチラするなど現代の疲労は複雑です。現代生活につきもの、からだ、神経の疲れを早く回復することが大切です。そのためには8時間の睡眠とバランスのとれた食生活を守ることにつきますのであなたの健康を下記の表で調査してください。

合計点が3~6点では要注意、7点以上では一度受診してください。

症状	いつもあ	ときどきあ
どうき、息ぎれがする	2	1
夜尿がひどい	2	1
手足がしびれる	2	1
肩がこる	2	1
腰が痛い	2	1
よく眠れない	2	1
めまいがする	2	1
腹がはる	2	1

2週間にわたる研修旅行に旅立つ日、小雨降る秋田港を離れながら、ある感動を覚えていた。それは船が出航する時の独特な雰囲気によるものかもしれないが初めての異国への旅、シベリアへの期待が胸にあふれていたからだと思う。ナホトカからシベリア鉄道で、第一の訪問都市であるハバロフスクへ向かった。市内に沿って流れるアムール川は、洪水とかで水は濁っていたが、ほとりでは大人にまじって、子供の太公望達が20センチほどのナマズに似た魚を釣っていた。郷土史博物館やコムソモール博物館を見学して、ロシアの人々が、いかに自国の歴史を大切に誇りに思っているかを知り、私自身大いに反省させられ、市民の見学者が多いことにも驚かされた。保育所を含めた幼稚園からの一貫した徹底的な教育は、ピオネールの豊かな成長を育て、やがては逞しいコムソモール(全ソ連邦共産青年同盟)へと導いてゆく。どこでも若いソ連の息吹が感じられ、施設を訪問するたびに意気込みに圧倒されるような思いがした。しかも単なる知識、学習ではない。幼児の頃から花に水をやることを日課とするなど、豊かな自然への暖かい心を育て、毎日の散歩や運動で肉體造りも心がけている。国のために、強い肉體と強い精神を持った人間を造ることが目的という優秀な才能には、国家で望む学習を保証し、より完成された力に造り上げてゆくのである。こうして若い力は「偉大なロシアの建設」を合言葉として、それぞれの専門分野に巣立ってゆく。

国内の交通機関として、飛行機は重要な位置を占めている。人々は隣りに行くような気軽な服装で飛行機を待つ。機上での撮影は御法度だが、窓から見える大自然の眺めはすばらしい。果てなく広がる緑の中に、目を奪うような白く光る

## シベリアの旅に思う

片町4の1 加賀谷真紀子

川、静かに横たわる湖。その雄大さは、うらやましい限りであった。

イルクーツクは人口40万程のシベリアの中心地で、私達が泊ったシベリアホテルの近くに、キーロフ広場があった。すばらしい噴水と、花で満ちた花壇のある大きな公園である。人々は、そこで日が落ちるまで癒い語り合う。私達もベンチにかけて、片言のロシア語で老夫婦と話したが、とても人なつこい暖かい人達だった。ロシア人は、以前に考えていたより明るくおおらかな民族のように感じた。

秋田県青年海外研修には、市から藤原美佐保、金沢邦男、戸枝正樹、加賀谷真紀子、菅原悦子の5人を派遣、さる、8月27日、14日間にわたるソビエトでの研修を終え帰国しました。この稿は、紙面の関係で、加賀谷さんが代表し市民の皆さんに報告を兼ねて寄稿したものです。



(写真) バイカル湖のほとりで加賀谷さん(左)とイルクーツクのガイド、ターニヤさん

イルクーツク工業大学のキャンプ場での1日は、印象的だった。アンガラ川のほとりの白樺林に囲まれたキャンプ場はバレエコートや屋外ステージもある広い静かな環境であった。青年達はシベリアの短い夏の間自然を相手に精神を磨き身体を鍛える。夜霧の立ちこめる寒いアンガラ川を2人3人とボートに乗せて、私達を向う岸まで送ってくれた時のことはロマンチックなムードと共に心に残る思い出である。心と心が通じ合う

のに、言葉の違いは障害とならなかった異国の友と、共に唄い肩をたたき合い、共にテーブルを囲んだ記憶は、生涯の支えとなって私を励ましてくれることだろう。世界の日本であるために、他国を知ることがますます必要となっている現代大国のソビエトに、政治的にも経済的にも私達が住む社会と異なる国に、わずかでも触れてこられたのは幸福である。この貴重な体験を、人生の糧として強く生きていきたい。

## 統計功労者が受賞

去る9月19日、統計関係者の士気の高揚と統計思想の普及向上を目的として第19回秋田県統計大会が秋田市産業会館で開催されました。

この日、市立有浦小学校6年の小田切勝美君、木山利之君、石井金光君、坂上都子さんのグループによって「有浦地区工業生産状況について」と題する研究発表があり、深い感銘を与えたほか、統計功労者として当市では、つぎの方々がそれぞれ表彰を受けました。

### 《労働大臣賞》

菅原 正康(松木)

### 《秋田県知事表彰》

嶋海 正富(北神明町)

菅原 栄(東台)

田村 吉彦(芦田子)

佐々木広治(沼館)

佐々木秀雄(川口)

久根木 豊(長走)

畠沢利栄蔵(花岡)

大沢 国二(二井田)

菅原 隆二(山館)

## 電車特急「いなほ」新登場

～上野まで9時間～

羽越本線・白新線の電化にもなつて10月2日から青森・上野間に、羽越本線經由、電車特急「いなほ」が運行します。この「いなほ」の運行によって、大館・上野間は9時間となり、特急「あけぼの」に比べて、2時間の短縮となるほか、大阪行の特急「白鳥」も40分短縮

されます。いなほ  
大館 8:35→17:39 上野  
19:28←10:30  
白鳥  
大館 5:55→18:48 大阪  
22:47←10:10

経理由

みちのくのあすを開く「東北新幹線」